

日本共産党市会速報

NO.225

発行 2021年 12月 9日
日本共産党摂津市会議員団
06(6383)1111
072(638)0007
内線 (3335~3336)
メール info@settsu.jcp-web.net

コロナで困った人全てに届く支援を、憲法の条を守りし！
12月の日よこ臨時国会、摂津では10月、12月議会で奮闘

9月の市会選挙、10月の総選挙と本当にお世話になりました。摂津市議会では、10月議会に続き12月の第4回定例会が行われています。委員会での審議が終わる、12月14日・15日には一般質問が予定されています。今回、日本共産党からはひろ豊、増永わき市会議員の2人が質問に立ちます。この間、「議会の役員改選」や「昨年度の決算審査」も行われました。後日「市会報告ビデオ」を発行しますのでご覧になってください。

議会での新しい担当は

安藤 かおる 議員（団長）
監査委員 総務建設常任委員
ひろ 豊 議員（幹事長）
文教上下水道常任委員長 議会だより編集委
副委員長 都市計画審議会委員
大阪広域水道企業団議員
増永 わき 議員
民生常任委員 議会運営委員
民生委員推薦会委員
野口 ひろし 議員
総務建設常任委員 駅前等再開発特別委員長

子育て世帯への臨時特別給付金

児童1人あたり5万円を支給(所得基準あり)
<対象者>
① 9月分の児童手当支給対象(0~15才)については、12月初旬にお知らせを送付。12月下旬に振込みとなります。
② 16~18才については、児童手当支給対象者が家族にいる場合、申請書が送付されます。その他の対象者は市役所へ問い合わせください。(申請期限は来年3月末)

一般質問

12月14日(水)15日(木)の本会議で行われます

◇ ひろ 豊 議員 (11番目)

- ① 新型コロナ対策の現状と課題について
 - 感染拡大の第6波に備えた対策と求められる支援策について
 - ワクチン接種のこれまでの取り組みと3回目接種について
 - 原則自宅療養の見直しと、それでも想定される自宅療養者・自宅待機者に対する支援策について
 - 保健所の体制強化を大阪府に働きかけることについて

- ② 学童保育事業の民間委託の検証と今後の見直しについて
- ③ 旧味舌小学校跡地の有効活用について
- ④ バス停に屋根やベンチを設置することについて

◇ 増永 わき 議員 (14番目)

- ① 有機フッ素化合物(PFOA)汚染について
- ② 自衛隊に若者の名簿を本人にも知らせず提供していることについて
- ③ 国民健康保険料を値下げすることについて
- ④ こどもの貧困について
- ⑤ 学校トイレに生理用品を常備することについて

意見書

日本共産党議員団として3件の意見書(案)を提出

- ▷ 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を求める意見書
- ▷ 政党助成金の廃止と企業・団体献金の全面禁止を求める意見書
- ▷ 文書通信交通滞在費の抜本的見直しを求める意見書

日本共産党 4人の議員団



野口 ひろし
090-7095-4929



安藤 かおる
090-1919-3951



ひろ 豊
090-3976-5963



増永 わき
090-9254-7643



10月28日・29日に
日本共産党から3名が
一般質問を行いました。

『安藤かおる議員は監査委員のため一般質問ができません。3人の質問の主な内容です。』

野口ひろし議員

◇「コロナ感染から命を守るための対策について」

問 昨年度はコロナ対策費として総額109億円のうち、摂津市の持ち出しはわずか4千万円。逆に主要基金は11億円増やし残高は150億円に増大した。市民の命と暮らしを守ることに對する市の姿勢が問われており、その認識を問う。

答 「〔総務部長〕 積み立てた基金については、市民生活の支援をはじめ、将来をしっかりと見据えた施策に活用していきたい。

問 自宅療養者に対する市の独自支援策が必要ではないか。

答 「〔総務部長〕 コロナ感染状況を注視し、自宅療養者も含め必要な支援策について検討・実施していきたい。

その他の質問項目

◎ JR千里丘駅西地区再開発について①地元権利者の生活再建措置の具体化②なぜ35階建の計画なのか

◎ 教育センター横の柳田橋周辺の安全対策について③つの学校の児童生徒が集中するので大変危険であり、安全対策を地元関係者と協議する(11月)

◎ 香露園1号線の大型車規制について



増永わかき議員

◇「3歳児虐待死事件について」

問 市と母親との面談等は91回。容疑者である交際相手とは1回だけ。虐待における交際相手の位置づけを問う。

答 「〔次世代育成部長〕 法は監護する者が対象。交際相手が監護していることの確認ない。

問 同居か否ではない。暴力の可能性あれば対応必要。「殺されるかもしれない」との市民の通告より母親の「暴力なくなった」を信じた。交際相手からのDV意識していたか。

答 「〔次世代育成部長〕 DV被害について相談なかった。

問 DVは身体的暴力だけでなく支配されること。精神的支配があれば母親は真実を語らない。児童虐待とDVは切り離せない。今回の件でDVがあったと断定できないが、常に念頭に置いて対応すべき。

答 「〔次世代育成部長〕 様々な視点で対応必要。スーパーバイザー配置へ調整中。

その他の質問項目

◎ 発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFOA)の調査を別府・東別府地域でも行うことについて

◎ 市内全域に小型バスを運行する等、利便性向上に向けた取り組みについて

ひろ豊議員

◇「中学校給食の早期実施と給食費の無償化について」

問 給食センターでの実施には用地を特定したのち5〜6年も期間を要する。自校方式で行うことは無理なのか。

答 「〔教育総務部長〕 現状の教育環境を維持したままでは、第三中学

校を除き実現困難。将来の学校施設の増改築時に合わせて考えることはできるが、学校間で実施時期に大きな差が出る。

問 センター方式だと調理は民間丸投げ、これまでの給食の良さが損なわれるうえ、費用面でも負担が大きくなるのではないか。

答 「〔教育総務部長〕 実施方式の差でこれまで培った特色や良さが損なわれるとは考えていない。自校方式に比べ費用負担は重くなるが、教育活動に大きな影響を与えることなく全員喫食を早期に実施できるメリットを優先し、給食センターを基本方針とした。

その他の質問項目

◎ 35人以下の少人数学級を全学年で実施することについて

◎ 水道経営戦略の進捗管理と水道料金の見直しについて

◎ コミュニティプラザの駐輪場に雨除けの屋根を設置することについて

来年夏の

参議院選挙の 予定候補に決定



プロフィール

1976年大阪市西淀川区生まれ。府立北野高校卒。ラグビー部。米エマーソン大学卒業。2013年参院選挙で初当選。予算委員会理事、森友学園問題追及チーム責任者など歴任。現在・党府コロナ対策本部長。家族・妻と1女2男